

# エンゼルケア（死後のケア）の手順と配慮

エンゼルケアの手順と配慮の例を簡単に列挙しました。

それぞれの病棟でアレンジし、マニュアルとしてご活用ください。

この手順では弊社のエンゼルケアセット、ベーシックを使用しております。

この商品を含めて、エンゼルケア関連商品もご紹介いたします。

手順	配慮
<p><b>死亡時</b></p> <p>1. 医師による死亡確認が行われた後、患者に黙祷し、哀悼の意をささげる。</p> <p>2. 機械類、酸素マスク、末梢ルート等を取り外す。</p> <p>3. お別れの時間（悲しみの時間）を提供する。家族だけでお別れをしていただくために看護師は退出する。</p> <p>4. お別れの間に必要な物品をそろえる。</p>	<p>生前と同様に、それぞれ、異なる場合があるため、丁寧に接する。</p> <p>すばやく行う。 ご家族にお別れの時間を早く提供できるように。</p> <p>宗教や習俗により死後のケアが異なる場合があるため、ご家族の意向を聞く。 お別れが終わったら、声をかけてもらう。 死に向き合い、存分に悲しめる時間が与えられるように。</p>

手順	配慮
<p><b>お別れ後</b></p> <p>5. 死後のケアについて所要時間も含めてご家族に説明をし、できる範囲で参加の意思を確認する。</p> <p>6. 着替えについてご家族に希望を聞く。希望や用意が無い場合は病院で準備しているものを使用する旨を伝える。</p> <p>7. 患者が身に着けている装飾品、腕時計等確かめ、ご家族の意向を聞く。その他病室にある貴重品は全てご家族に渡す。</p> <p>8. 葬儀社や寝台車の手配など、退院方法の確認をする。</p> <p><b>ケアの開始</b></p> <p>9. 患者に一礼をする。</p> <p>10. 必要時にはディスポーザブル手袋、マスク、プラスチックエプロンをつける。</p> <p>11. 気管カニューレ、CVカテーテル、ドレーン、胃瘻等の抜去、ストーマ等のケアを行う。</p>	<p>ご家族の持つ様々な不安や心配を受け止められるような配慮、声掛けをする。</p> <p>希望する着替えが手元に無い場合、ご自宅に帰られてからでも葬儀社に着替えを依頼することができる旨を伝える。</p> <p>この時点で必ずしも必ず必要はない。火葬場によっては金属類は必ず必要があるが、その後は葬儀社の判断にまかせてよい。</p> <p>お迎えの時間によってはケア内容を制限することが求められるため、臨機応変に対処する。</p> <p>原則として家族の参加あるいは同室することをすすめる（強制はしない）。参加されない場合も希望を聞き、できるかぎり家族の意向を尊重する。</p> <p>ペースメーカーが装着されている場合、火葬時にそれを知らせることを伝える。外科的処置が必要なものは、医師が抜去し縫合する。 胃瘻は胃内容物を吸引後抜去する。</p>